

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場会社名 株式会社JCLバイオアッセイ 上場取引所 大
 コード番号 2190 URL http://www.jclbio.com/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 靱山 邦男
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画室長 (氏名) 田中 雅樹 (TEL) 06(4863)5020
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	928	△7.4	△159	—	△247	—	△235	—
23年3月期第2四半期	1,001	26.9	110	—	△93	—	△143	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △257百万円(—%) 23年3月期第2四半期 △211百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△71.22	—
23年3月期第2四半期	△43.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,890	730	18.8
23年3月期	3,866	1,004	26.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 730百万円 23年3月期 1,004百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,397	12.7	△222	—	△257	—	△346	—	△104.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	3,306,000株	23年3月期	3,306,000株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	240株	23年3月期	240株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	3,305,760株	23年3月期2Q	3,305,822株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 追加情報	10
(6) セグメント情報等	10
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループがサービスを提供する医薬品業界においては、主力医薬品の特許切れが相次ぎ、早期の新薬開発が重要となっておりますが、世界的な新薬承認審査の厳格化等の影響により新薬開発は困難化しております。また、世界医薬品市場における日本市場の相対的縮小傾向が長期化し、国際競争力の強化が重要となっており、製薬会社にとっては厳しい事業環境が続いております。このような事業環境の中、製薬会社は、医薬品開発において一層の効率化とスピードアップが必要となっており、医薬品開発を支援するCRO（医薬品開発受託研究機関）の重要性はますます高まっております。

このような状況下で当社グループは、主力事業のバイオアナリシスにおいて、日本と米国に研究所を有するというグループシナジーを活用した営業活動を開始し、事業計画の達成に努めました。

その結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高928,172千円（前年同期比7.4%減）、営業損失159,647千円（前年同期は営業利益110,109千円）、経常損失247,657千円（前年同期は経常損失93,800千円）、四半期純損失235,436千円（前年同期は四半期純損失143,378千円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における当社グループのセグメント別業績は次のとおりであります。

・日本

日本においては、営業人員を増員するとともに、新たな営業拠点として横浜オフィス（神奈川県横浜市）を開設し、更なる受注獲得を目指し営業力強化を図っております。しかしながら、中止等となった試験が想定より多かった事から、売上高は923,011千円（前年同期比7.9%減）、また売上高の減少及び稼働率の低下により営業損失29,319千円（前年同期は営業利益110,109千円）となりました。

このうちバイオアナリシスにおいては、試験の中止及び規模の縮小による影響が大きく、売上高は751,047千円（前年同期比11.6%減）となりました。一方、医薬品品質安定性試験においては、当第2四半期連結累計期間に終了予定であった試験を概ね計画どおりに終了できたこと、及び当第2四半期連結累計期間に受注し同期間に終了できた試験が当初の想定より多くあったこと等により、売上高は171,963千円（前年同期比12.9%増）となりました。

・米国

米国においては、先行投資として試験設備の拡充、研究員のトレーニングに注力するとともに、積極的な営業活動を展開しております。その結果、当第2四半期累計期間において、売上高は5,161千円となりましたが、先行投資による費用負担が大きく営業損失131,080千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ23,544千円増加して3,890,106千円となりました。これは主に、現金預金の減少201,985千円、売掛金増加の85,677千円、前払費用の増加41,344千円、及び工具器具備品の増加103,968千円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ297,218千円増加して3,159,687千円となりました。これは主に、長期借入金の増加232,134千円、前受金の増加126,391千円、買掛金の増加27,483千円、及び未払法人税等の減少96,698千円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ273,674千円減少して730,418千円となりました。これは主に、当第2四半期累計期間の四半期純損失235,436千円の計上、及び配当金の支払16,528千円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ201,985千円減少し、645,408千円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、130,698千円（前年同期は112,831千円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失の計上額247,704千円、減価償却費の計上額119,550千円、売上債権の増加額85,756千円、前受金の増加額127,621千円、及び法人税等の支払額99,437千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、221,113千円（前年同期比33.1%減）となりました。これは主に、有形及び無形固定資産の取得による支出211,441千円、及び長期前払費用の増加による支出7,931千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は、162,037千円（前年同期は126,676千円の使用）となりました。これは長期借入れによる収入300,000千円、長期借入金の返済による支出67,866千円、配当金の支払による支出16,282千円、及びリース債務返済による支出53,814千円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては平成23年10月26日に第2四半期累計期間のみ業績予想の修正を行っており、通期の業績予想に修正はございません。詳細につきましては、平成23年10月26日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、上記予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	847,394	645,408
売掛金	261,776	347,454
仕掛品	308,781	344,181
原材料及び貯蔵品	46,746	48,617
その他	106,135	160,637
貸倒引当金	△1,426	△1,794
流動資産合計	1,569,407	1,544,503
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,004,166	956,573
工具、器具及び備品(純額)	342,291	446,259
土地	461,909	451,507
その他(純額)	365,005	334,317
有形固定資産合計	2,173,373	2,188,658
無形固定資産	16,640	35,495
投資その他の資産	99,376	114,369
固定資産合計	2,289,390	2,338,523
繰延資産	7,763	7,078
資産合計	3,866,561	3,890,106
負債の部		
流動負債		
買掛金	37,977	65,461
短期借入金	630,000	630,000
1年内償還予定の社債	—	50,000
1年内返済予定の長期借入金	132,398	132,398
未払法人税等	99,437	2,739
賞与引当金	96,403	99,362
受注損失引当金	43,916	62,646
その他	268,731	395,511
流動負債合計	1,308,865	1,438,119
固定負債		
社債	500,000	450,000
長期借入金	634,571	866,705
退職給付引当金	120,085	131,744
役員退職慰労引当金	29,720	33,222
資産除去債務	13,934	14,068
その他	255,291	225,828
固定負債合計	1,553,603	1,721,568
負債合計	2,862,468	3,159,687

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	256,356	256,356
資本剰余金	271,455	271,455
利益剰余金	576,466	324,501
自己株式	△162	△162
株主資本合計	1,104,115	852,149
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△100,022	△121,730
その他の包括利益累計額合計	△100,022	△121,730
純資産合計	1,004,093	730,418
負債純資産合計	3,866,561	3,890,106

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	1,001,942	928,172
売上原価	654,817	776,228
売上総利益	347,125	151,943
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	—	368
役員報酬	39,300	37,800
給料及び手当	52,174	75,376
賞与	—	669
法定福利費	11,483	12,555
賞与引当金繰入額	15,297	16,259
退職給付費用	4,644	4,690
役員退職慰労引当金繰入額	3,098	3,502
旅費及び交通費	4,139	9,103
保険料	6,072	8,218
支払手数料	20,662	30,635
減価償却費	2,002	7,233
研究開発費	36,463	55,133
その他	41,676	50,044
販売費及び一般管理費合計	237,015	311,591
営業利益又は営業損失(△)	110,109	△159,647
営業外収益		
受取利息	210	70
受取配当金	2	—
保険解約返戻金	460	108
受取手数料	3,049	—
助成金収入	—	400
その他	151	2,677
営業外収益合計	3,873	3,256
営業外費用		
支払利息	12,952	13,789
社債利息	3,039	2,821
社債発行費償却	684	684
為替差損	40,398	73,917
開業費償却	150,708	—
雑損失	—	53
営業外費用合計	207,784	91,266
経常損失(△)	△93,800	△247,657

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
特別利益		
貸倒引当金戻入額	332	—
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	332	1
特別損失		
固定資産除却損	21	48
固定資産売却損	11	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9,595	—
特別損失合計	9,628	48
税金等調整前四半期純損失(△)	△103,096	△247,704
法人税、住民税及び事業税	52,167	674
法人税等調整額	△11,885	△12,941
法人税等合計	40,282	△12,267
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△143,378	△235,436
四半期純損失(△)	△143,378	△235,436

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△143,378	△235,436
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△68,473	△21,708
その他の包括利益合計	△68,473	△21,708
四半期包括利益	△211,852	△257,145
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△211,852	△257,145
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△103,096	△247,704
減価償却費	95,455	119,550
社債発行費償却	684	684
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9,595	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△332	368
賞与引当金の増減額(△は減少)	100,428	2,959
受注損失引当金の増減額(△は減少)	4,037	18,730
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10,388	11,658
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△902	3,502
受取利息及び受取配当金	△212	△70
支払利息	12,952	13,789
社債利息	3,039	2,821
固定資産売却損益(△は益)	11	△1
固定資産除却損	21	48
売上債権の増減額(△は増加)	60,984	△85,756
たな卸資産の増減額(△は増加)	△60,451	△39,247
仕入債務の増減額(△は減少)	17,659	27,541
その他	49,247	156,087
小計	199,512	△15,037
利息及び配当金の受取額	213	70
利息の支払額	△15,285	△16,293
法人税等の支払額	△71,608	△99,437
営業活動によるキャッシュ・フロー	112,831	△130,698
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△347,302	△211,441
有形及び無形固定資産の売却による収入	20	54
その他	16,692	△9,726
投資活動によるキャッシュ・フロー	△330,589	△221,113
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	910,000	1,330,000
短期借入金の返済による支出	△910,000	△1,330,000
長期借入れによる収入	—	300,000
長期借入金の返済による支出	△67,866	△67,866
配当金の支払額	△16,208	△16,282
その他	△42,601	△53,814
財務活動によるキャッシュ・フロー	△126,676	162,037
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24,463	△12,210
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△368,897	△201,985
現金及び現金同等物の期首残高	1,362,764	847,394
現金及び現金同等物の四半期末残高	993,866	645,408

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

(6) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,001,942	—	1,001,942	1,001,942
計	1,001,942	—	1,001,942	1,001,942
セグメント利益	110,109	—	110,109	110,109

(注) 米国については、開業準備中でありますので、売上高及びセグメント利益はありません。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	米国	計	
売上高				
外部顧客への売上高	923,011	5,161	928,172	928,172
計	923,011	5,161	928,172	928,172
セグメント損失(△)	△29,319	△131,080	△160,399	△160,399

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△160,399
セグメント間取引消去	752
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△159,647

3 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループがサービスを提供する医薬品業界の急速な経営環境の変化に、これまで以上に機動的に対応できる仕組みの構築などから、第1四半期連結会計期間より経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となる報告セグメントを見直し、「バイオアナリシス(西脇ラボ)」、「バイオアナリシス(大阪ラボ)」、「バイオアナリシス(米国ラボ)」及び「医薬品品質安定性試験」から「日本」、「米国」に変更しております。なお、この変更により、前第2四半期連結累計期間の報告セグメントについて、変更後のマネジメント・アプローチに基づく新しい報告セグメントの区分により開示しております。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。